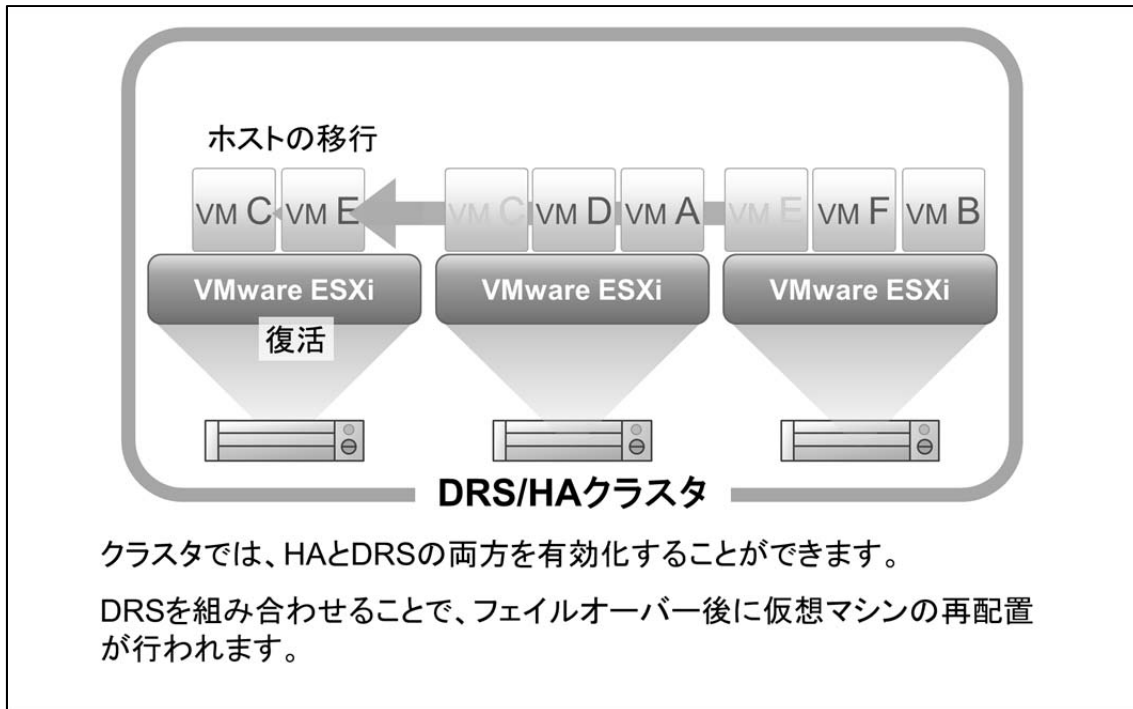


■ DRS クラスタとの組み合わせ



スライド 6-6

クラスタでは、HA と DRS の両方を有効化することができます。

DRS を組み合わせることで、フェイルオーバー後の仮想マシンの配置を DRS によって評価し、仮想マシンの再配置が行われます。

HA クラスタでは、障害の発生したホストが復旧してもそのホストにフェイルオーバーされた 仮想マシンがフェイルバックする仕組みがありません。復旧したホストに仮想マシンを再配置する場合、管理者が手動で vMotion を実行する必要があります。

HA と DRS を組み合わせると、障害の発生したホストが復旧した際にクラスタ内の負荷を平準化するため、いくつかの仮想マシンが移行されます。